



この地球上で、この場所で こうして出会えた奇跡に感謝 こうしてかかわり合うことが できる縁を大事にしましょう 平戸市立大島中学校 令和元年度学校だよりNo7 令和元年7月1日 文責 校長 吉尾直樹

大島のよさを、多くの人とのふれあいから学ぶ 6月28日 人に学ぶ時間(総合)

「大島を愛し、大島を支える大島っ子」を育むため、学社融合事業による「人に学ぶ時間」が始まりました。これは、1年生がボラティアコース、2年生が郷土料理コース、3年生が歴史探訪コースでそれぞれ学びます。各コースで開講式後に、2年生はかから団子を作りました。初めて作る生徒も多く、「粉を入れすぎたみない!」というような声も最初はありましたが、若芽会のよいできあがりで、とあがりましたできあがりで、というようながで、というは、相手の気持ちになって行動するという日々の生活でも大生から、大島村ふるさと資料館で、米村伍則先生から、大島村ふるさと資料館で、米村伍則先生から、大島村ふるさと資料館で、米村伍則先生から、大島村ふるさと資料館で、米村伍則先生から、大島村からでよりについました。身近な場所の名前の由来やそこれが出したものなどを見て、驚きの声が上がっていました。これか





らも多くの人とのふれあい を通して各コースで学習を

進め、その成果は10月の学習発表会でお知らせします。



かけがえのない「いのち」を輝かせるために 7月1日~5日 長崎っ子の心を見つめる教育週間

今から16年前の2003年の7月1日に長崎市で当時12歳の少年が4歳の男児を殺害する事件が起こりました。そのため、この教育週間を2004年の7月第1週におこなうようにしたのです。しかし、そ

の準備等を進めていた6月1日に、佐世保市で小6女児による同級生殺害事件が起こりました。こうした 事件が連続した状況に悩みながら、この教育週間が現在まで続けられているのです。

今年の重点目標の一つは 「『SNSノート・ながさき』を活用し、情報モラルについて学ぶことを通して、相手の立場に立った言動の大切さに気付き、いのちを輝かせて生きようとする心情を育む。」です。つまり、①スマホをはじめとした双方向のメディアは、便利な一方でさまざまな危険があり、十分に注意する必要がある。②相手の立場に立った言動の大切さに気付くことは、日頃の生活の中で常に意識することが大切。③私たちは、一人ひとりがかけがえのない存在であり、自らのいのちを精一杯輝かせる権利と義務がある。この3つのことを意識する教育週間にしてほしいと思います。



先月初めに、松浦史料博物館で水墨画について学びました体験を生かして、美術科の学習として大島の魚を描く水墨画や水彩画の学習を行っています。魚やイ



カなどの質感を表現するのは難しく、生徒たちは何度も描き直していました。これらの魚は、PTA会長の川久保さんと大根坂漁協のみなさんに、ご協力いただいたものです。大島の海の豊かさとすばらしさに触れる大切な機会となりました。ありがとうございました。

こうして、ふるさと大島を学ぶ学習をこれからもさま ざまな形で進めることができればと思います。